

# 「コミュニティが命を救った島」塩釜市浦戸諸島「桂島で」ウォーキングをしました。



3・11の津波では一溜りもなかったのではないかと。誰もがそう思いながらも、「定期船に乗ってカモメに餌を…」との思いも手伝い、老若(?)男女40名が健康づくりのために参加した。

津波に流された道の両側の民家や民宿の瓦礫は跡形もなく綺麗に取り払われてはいるが、南に面したひな壇の跡地に目をやると、地獄の様相を容易に想像することができ、胸が締め付けられた。体力などを考慮して二手に分かれたBコースは、直接休憩する民宿へのコース。Aコースは、仁王島を左に見ながら二つの名勝の展望台を通るが、地震による崖崩れの為ロープで遮られている箇所がそこそこ。それでもやはり松島、素晴らしい眺めだ。

『コミュニティが命を救った』『住民一人の犠牲者も出さなかった』という情報は俄かには信じられなかったが、地元の方の話をお聞きし、皆が納得した。



浜辺では、何事もなかったような小波の音を聴きながら、津波で倒れたパーゴラの柱を前に集合写真を撮り。



島に着くなり、まずはひと丘超えた桂島海水浴場へと向かった。杖を突く仲間数人に気を配りながらのウォーキングでした。これも、相互支援のひとつです。